自治体名 栃木県

本事業の担当部局名 生活文化スポーツ部県民協働推進課

=	事業メニュー	ライフデザイン・約	洁婚支援重点推進	事業					
	区分	一般メニュー							
関注	連事業メニュー	1_1_1 結婚支援センターに関する取組							
	個別事業名	とちぎ結婚支援や	センター運営事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続				
	実施期間	令和7年	₹4月1日	~	令和]8年3月31日	事業開始年度	平成28年度	
総事	事業費(A)(円)	59,81	8,474	寄付金その他	の収入予定額(B)	(H) 9,707,000	差引額(A-B)(円)	50,111,474	
	費支出予定額(円) 脚率を乗じる前の額				59,81	18,474			
	区分	諸謝金	賃金	報	賞費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	35, 741, 585		0	82, 764	2, 043, 884	5, 219, 940	
費	対象経費支出予定額	0	35, 741, 585		0	82, 764	2, 043, 884	5, 219, 940	
用	対象外経費支出予定額	0	0		0	0	0	0	
内訳	区分	委託料 使用料及び賃借料		備品	購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	5, 020, 290	11, 710, 011		0	0	0	59, 818, 474	
円	対象経費支出予定額	5, 020, 290	11, 710, 011		0	0	0	59, 818, 474	
	対象外経費支出予定額	0	0		0	0	0	0	
	0	※上記対象経費	支出予定額に本る	を付金の	対象外とな	なる経費は含まれ	いていない。		
対策の	なにおける少子化 全体像及びその 本個別事業の位	結婚や子育でをごと創生法に基づいまプラン」に掲げた行うことで、少子化く本個別事業の位民間の結婚情報セ	公計画「とちぎ創生15 重点事項により、結 トレンドの反転を図る ではないではないでは、 ではないでは、 では、 ではでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	こより、本り (いちご)単 (いちご) 婚、妊娠・ る。	県においても 戦略」(R2~ 出産、子育・ ぎ結婚支援	7年度)に加え、R7年 てといった、ライフス てといったといった。 サンター」を設置・選	ミ3月に策定した「栃オ テージごとの切れ目 「営し、とちぎ未来クラ	とから、まち・ひと・し 、県こどもまんなか推 ない支援を積極的に のブ(事務局:栃木県) て子どもを生み育てら	

	番号	項目	内容
個別事業の内容	1		原則として、年末年始とお盆を除き週7日開所し、以下の業務を行う。 【1対1のマッチング】 ・異性との出会いを求める方を登録会員(会費10,000円/2年)として募集 ・会員制による1対1の出会いの場(お引き合わせ)を提供 ・インターネット上で稼働するシステムを導入し、自己プロフィールの掲載、お相手の検索、性格診断とビッグ データを活用したおすすめのお相手の提示、匿名チャット機能等を提供 ・登録会員に対し、自己PRの方法や婚活の心構え等、とちぎ結婚支援センターの結婚相談員が適宜サポートを実施 ・婚活に際して幅広い支援が求められていることから、主にお引き合わせや交際の先に思うように進めない会員 に対し、コミュニケーションやファッションなど婚活に必要な各分野に特化した伴走支援の強化を実施 【イベントシステムの提供】 ・婚活イベントに興味のある者をイベント会員(会費等無料)として募集 ・イベント会員あてイベントの周知、参加者募集、管理、マッチングが容易に行えるイベントシステムを提供(とちぎ結婚支援センターの主催イベント以外でも利用可能) 【交際フォロー】 ・1対1のマッチング及びイベントシステムを活用して交際するカップルに対し、交際進展に係るフォローを実施

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

利用者にとって魅力度を高めるため、R4年度は同時に3人までとお試し交際ができる「プレ交際」制度を導入し、R5年度はイベントシステムの 改修を行い、R6年度は会員マッチングにおけるプロフィール項目のリニューアルを行った。センター利用者の声を踏まえ、よりとちぎ結婚支援センターの魅力度が高まるよう提供サービスの見直しを適宜行う。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6(R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	香支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5(R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	とちぎ結婚支援センターの新規会員登録数(単年度)	人	756(R7年度)	424 (R6. 11)
	2	お引き合わせ成立組数(累計)	組	12, 960 (R8. 3)	10, 560 (R6. 11)
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	結婚報告数(累計)	人	1, 132 (R8. 3)	924 (R6. 11)
	5				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

本事業の担当部局名 生活文化スポーツ部県民協働推進課

事業メニ	ـــــ	結婚_妊娠•出産	_子育てに温かいれ	t会づくり・気運醸反					
区分	>	一般メニュー							
連事業ノ	ノニュ ー	3_1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
個別事	業名	とちぎで交際進展後押し事業 新規/継続 (一般財源での 実施も含む)						継続	
実施期	間	令和74	年4月1日	~ 令和	□8年3月31日	事業	 美開始年度	令和5年度	
事業費(A)(円)	1,11	3,200	寄付金その他の収入予定額(B)	(円)	差引	額(A-B)(円)	1,113,200	
				1,11	3,200	•			
Į	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需	用費	役務費	
総	事業費	0	0	0	0		0	0	
対象経費	費支出予定額	0	0	0	0		0	0	
対象外経	費支出予定額	0	0	0	0		0	0	
I	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補	助金	計	
総	事業費	1, 113, 200	0	0	0		0	1, 113, 200	
対象経費	費支出予定額	1, 113, 200	0	0	0		0	1, 113, 200	
対象外経	費支出予定額	0	0	0	0		0	0	
	0	※上記対象経費	・ 記支出予定額に本る	交付金の対象外と	なる経費は含ま	れていな	い。		
全体像 本個別	及びその	結婚や子育てをごと創生法に基づ進プラン」に掲げた行うことで、少子化く本個別事業の位とちぎ結婚支援セが増えているところ	取り巻く環境の変化に く計画「とちぎ創生15 ・重点事項により、結 ・トレンドの反転を図る な置付け> ンターでは、本格交際 もではあるが、「うまく	こより、本県において: (いちご)戦略」(R2〜 婚、妊娠・出産、子育 る。 その前にお友達として 仲を深められなかった	7年度)に加え、R7: てといった、ライフ2 交際するプレ交際 ニ」として交際が思う	年3月に策 ステージご 明間を設定 ように進展	定した「栃オ との切れ目 Eしており、1 長できず、本		
番号	項	目			内容				
1	押し事業	醸成一・ ・複幅で ・を幅で ・を ・を ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ き ・ ・ ・ ・	、デートプランやデートプランやデートプランやデートコース・フェートプランやデートのデートが交際を接にもらいなかって、な立かっプルにチケッ結婚支援センターにより、観光施設、大大大・観光を設め、大大大・製造を表します。	トコースの提案・HP掲 スの提案・HP掲出 トコースをとちぎ結婚 い、センターで交際成 取り組んでいることを 達する気室の醸成、国庫 小贈呈、別事業、国庫 おいて交際成立した力 その他企業に協力を 等)を確保。	出等を行う。 支援センターHPに対したカップル以外間のは、センター会開加を報による連携。 車舗助対象外) カリンプル以外間ができるがある。 は、おいまでは、 は、おいまでは、 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、対していますがある。 は、は、対していますがある。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	る出するこの交際進員数の増加を の変象を 員数の増加を で乗の拡大を配った。	とで、以下(展も後押し 加 大 布。	の効果を期待。	
	車 個 実業費 事 別 対 対 対 対 対 対 が 対 が 対 が 経 が 経 が 経 が 経 が 経 が 経 が 経 が 経 が 経 が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み か み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み が み	(における少子化の全体像及びその)本個別事業の位 番号 項とちぎで交際押し事業	区分 一般メニュー 3_1 その他、結如	区分 一般メニュー 連事業メニュー 3_1 その他、結婚、妊娠・出産、子評 個別事業名 とちぎで交際進展後押し事業	 区分 一般メニュー 連事業メニュー 3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育でに温かい社会での際進展後押し事業 実施期間 令和7年4月1日 ~ 今季 事業費(A)(円) 1,113,200	図分 一般メニュー 事事業メニュー 3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育でに温かい社会づくり・気運醸成事 個別事業名 とちぎで交際進展後押し事業 実施期間 令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日 事業費(A)(円) 1,113,200	 国外事業名 とちぎで交際進展後押し事業 実施期間 令和7年4月1日 令和7年4月1日 令和7年4月1日 中本 令和8年3月31日 事業 費支出予定額(円) 1,113,200 同年業費(A)(円) 1,113,200 同年業費(A)(円) 1,113,200 同年業費(A)(円) 1,113,200 (日本) (図分 一般メニュー 3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育でに温かい社会づくり・気運離成事業 個別事業名 とちぎで交際進展後押し事業 (一般対策での実施も含む) 実施期間 令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日 事業開始年度 事業費(A)(円) 1,113,200 報告さの他の私入予定域(P) 0 差別額(A-B)(円) 1,113,200 報告を他の成入予定域(P) (日)	

本事業を利用するカップルは様々であり、各カップルに応じたデートプラン・デートコースが求められていることから、地域の魅力ある資源等も活用しながらカップル毎にプラン・コースの選択またはカップル自らアレンジして活用できるように内容を工夫する。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	野支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	本交際組数	組	150 (R7年度)	102 (R6. 11)
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	交際成立数に対する成婚数の割合(累計)	%	9.0 (R8.3)	8.6 (R6.11)
	5	プレ交際成立数に対する本交際組数の割合(累計)	%	19.0 (R8.3)	17. 9 (R6. 11)
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

=	事業メニュー ライフデザイン・結婚支援重点推進事業 一般メニュー										
	区分	}	一般メニュー								
関連	重事業と	メニュー	1_1_4 その他、ライフデザイン・結婚支援重点推進事業								
1	個別事:	業名	新規/継続 結婚・婚活気運醸成事業 (一般財源での 実施も含む)							継続	
	実施期	間	4	う和7年	₹4月1日	~	令和	18年3月31日		事業開始年度	令和3年度
総事	事業費(A)(円)		7,21	1,600	寄付金その他	也の収入予定額(B)	(円)		差引額(A-B)(円)	7,211,600
	費支出 ⁻ 助率を乗じ	予定額(円) 活前の額					7,21	1,600			
		 区分	諸謝金	金	賃金	報	償費	旅費		需用費	 役務費
	総	事業費		0	0		0		0	0	0
費		費支出予定額		0	0		0		0	0	0
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0	0	0
内 訳	ı	 区分	委託料	料	使用料及び賃借料	備品	購入費	負担金		補助金	<u></u> 計
	総	事業費	7, 211	, 600	0		0		0	0	7, 211, 600
円	対象経費	費支出予定額	7, 211	, 600	0		0		0	0	7, 211, 600
	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0	0	0
		0	※上記対象	象経費	支出予定額に本る	を付金の	対象外とな	なる経費は含	まれて	いない。	
対策の	全体像 本個別	る少子化 2及びその 事業の位	結婚や子式と創生法に 進プラン」に 行うことで、 <本個別事 集全体にいずす	育てを取ってを取った。 に掲げた とおいる はおいる はおいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	く計画「とちぎ創生15 重点事項により、結: トレンドの反転を図る	こより、本 (いちご) 婚、妊娠 る。 いながらも	県においても戦略」(R2~7 ・出産、子育で ・出産、子育で	7年度)に加え、 てといった、ライ 動を起こしてい	R7年3月 フステー	に策定した「栃木-ジごとの切れ目 ・ジごとの切れ目	を目的とし、結婚意
	番号	項	目					内容			
個別事業の	1	結婚意識を ための情報	発信 · ·	・とちぎ ・ターゲ に関する 【WEBコ ・既存の	る気運の高まりを狙う ンテンツの改修】 DWEBページ・WEBコン	示される) ンテンツ0	WEB広告の特				に対して結婚や婚活 VEB広告による誘導
業のの内へ (その行動(アクション)につなげる。 (本の行動(アクション)につなげる。 (本の行動(アクション)につなげる。 (本の行動(アクション)につなげる。 (本のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大									なを見て適宜更新して		

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	§支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	積値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	結婚気運醸成関連WEBサイト総セッション数	□	450,000 (R7年度)	430, 565(R5年度)
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	広告経由のとちぎ結婚支援センター入会申込者	件	439 (R7年度)	201 (R5年度)
	(5)				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

-	事業メニ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	結婚_妊娠•出	出産_	子育てに温かい社	t会づくり・気運醸店					
	区分	>	一般メニュー								
関	連事業ス	<u></u>	3_1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業								
	個別事:	業名	結婚新生活支援事業PR事業						新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
	実施期	間	令和	07年	F4月1日	~ 令和	D8年3月	月31日		事業開始年度	令和6年度
総事	事業費(2	.,38	1,280	寄付金その他の収入予定額(B)	(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,381,280	
	費支出 動率を乗じ	予定額(円) ^{る前の額}				2,38	1,280				
		区分	諸謝金		賃金	報償費	ħ			需用費	役務費
	総	事業費		0	0	0		0		0	0
費	対象経費	貴支出予定額		0	0	0		0		0	0
用	対象外経	費支出予定額		0	0	0		0		0	0
内 訳	I	区分	委託料		使用料及び賃借料	備品購入費	負	担金		補助金	計
$\overline{}$	総	事業費	2, 381, 28	80	0	0		0		0	2, 381, 280
円	対象経費	費支出予定額	2, 381, 28	80	0	0		0		0	2, 381, 280
	対象外経	費支出予定額		0	0	0		0		0	0
		0	※上記対象約	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
対策の)全体像)本個別	る少子化 及びその 事業の位	結婚や子育でごと創生法に基準プラン」に掲行うことで、少年の日本	てを取 基づく げた 子化	《計画「とちぎ創生15 重点事項により、結ま トレンドの反転を図る 置付け>	こより、本県において: (いちご)戦略」(R2~ 婚、妊娠・出産、子育	7年度)に てといっ	こ加え、R7年 た、ライフス・	3月 テー	に策定した「栃木 ジごとの切れ目 [‡]	果こどもまんなか推
	番号	項					内容	}			
個別事業		結婚新生活 を周知する 報発信	支援事業 【デための情・県			爰事業に関するWEB/	太告を配	信し、認知度	度向.	上を図る。	
業の内内 ・検索連動型広告ではターゲット層にアプローチしにくいため、引き続きディスプレイ広告の内容を更新しながら配信する。											

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6(R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	野支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5(R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件		(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	結婚新生活支援事業関連WEBサイト総セッション数	回	14,060 (R7年度)	
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	WEB広告ランディングページから各市町の制度案内ページへの外部リンククリック	回	700 (R7年度)	
	5				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

_										
Į.	事業メニ	<u>-</u>	結婚_妊娠•\	出産.	_子育てに温かいネ	t会づくり・気運醸原	戊事業	É		
	区分 重点メニュー こうりゅうけん スタイク に振って スタイク になって アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
関連	関連事業メニュー 3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成									
1	個別事:	業名	とちぎ結婚の	とちぎ結婚応援カード「とちマリ」事業 新規/継続 (一般財源での 実施も含む)						継続
	実施期	間	令	和7年		~ 令和	08年	3月31日	事業開始年度	平成29年度
総事	事業費(A)(円)	:	2,010	0,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	2,010,000
	費支出	予定額(円) る前の額				2,01	0,00	0		
		区分	諸謝金		賃金	報償費		旅費	需用費	 役務費
	総	事業費		0	0	0		0	0	0
費	対象経費	貴支出予定額		0	0	0		0	0	0
用	対象外経	費支出予定額		0	0	0		0	0	0
内 訳		区分	委託料		使用料及び賃借料	備品購入費		負担金	補助金	計
$\overline{}$	総	事業費	2, 010, 0	000	0	0	0		0	2, 010, 000
円)	対象経費	貴支出予定額	2, 010, 0	000	0	0		0	0	2, 010, 000
	対象外経	費支出予定額		0	0	0		0	0	0
		0	※上記対象	経費	支出予定額に本る	を付金の対象外と	なる	経費は含まれて	ていない。	
対策の	全体像 本個別	る少子化 及びその 事業の位	結婚や子育ごと創生法に進プラン」に接行うことで、少 <本個別事業 「とちぎ創生1: ルを対象に特	て基づた化 の 戦サ	《計画「とちぎ創生15 重点事項により、結 トレンドの反転を図る 置付け> 引に掲げる「結婚支持 一ビスが受けられる	より、本県において (いちご)戦略」(R2〜 婚、妊娠・出産、子育 ら。 髪の充実(戦略9)」の	7年度てといれています。 取組()に加え、R7年3 いった、ライフステ か一環として、新 称「とちマリ」)」を	月に策定した「栃木一ジごとの切れ目 一ジごとの切れ目 婚カップルや結婚? とちぎ未来クラブが	とから、まち・ひと・し は、果こどもまんなか推 ない支援を積極的に を予定しているカップ が発行し、企業と協力 図る。
	番号	項	目				P	内容		
個別事業	1	とちぎ結婚! 「とちマリ」	事業運営 広	報等))					協賛店舗向けの周知 新規協賛店舗の拡大
業の内容	業									

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	ち支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	見休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	協賛店舗数	店舗	380 (R8. 3)	305 (R6. 11)
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	デジタル版カード新規登録件数	枚	560 (R7年度)	389 (R6. 11)
	(5)				
	6				
	7				
1	8				

自治体名 栃木県

事業メニュー 結婚支援コンシェルジュ事業												
	区分	}	結婚支援	5婚支援コンシェルジュ事業								
関	連事業	メニュー	2_1 結婚	支援コン	シェルジュ事業							
	個別事	業名	とちぎ結婚	昏支援:	コンシェルジュ事業						新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
	実施期	間	-	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日				事業開始年度	令和5年度			
総	事業費(A)(円)		5,45	0,203	寄付金その	他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	5,450,203
	を費支出・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	予定額(円) る前の額					5,45	50,20	03			
		区分	諸謝	金	賃金	軒	设 費		旅費		需用費	役務費
	総	事業費		0	0		0		0		0	0
費	対象経済	費支出予定額			0		0		0		0	0
用内	対象外紹	費支出予定額		0	0		0		0		0	0
訳	-	区分	委託	• •	使用料及び賃借料	備品	購入費		負担金		補助金	計
円		事業費	1	0, 203	0		0		0		0	5, 450, 203
1.3		費支出予定額		0, 203	0		0		0		0	5, 450, 203
	対象外経費支出予定額				0		0		0		0	0
	※上記				支出予定額に本る	を付金の)対象外と	なる	経費は含まれ	てし	いない。	
対策σ)全体像)本個別	る少子化 及びその 事業の位	進プラン」(行うことで、 <本個別 本県ではり ている。県	に掲げた、少子の位 事業の位 まま市町、 にた。と	重点事項により、結: トレンドの反転を図る 置付け> に加え、企業や団体 企業・団体が有機的 ちぎ結婚支援センター	婚、妊娠 う。 も巻き込 に連携す	・出産、子育んだ官民一るための推	てと 体 の 進役	いった、ライフス・ "オールとちぎ"! として、令和5(2)	テーこよる	ジごとの切れ目 ⁷ る「縁結びムーブ 年6月にとちぎ糸	メントの創出」を掲げ
	番号	項	目	内容								
	1	【基本事項】 ①配置先 ②雇用形態 ③配置人数 ④人数の考 ⑤実施体制 ⑥役割分担	【 【 :え方 	① とちぎ結婚支援センター ② ①の運営委託先による雇用 ③ 1名 ④ 主任業務の対外的な窓口及び先導役として1名を配置 ⑤ とちぎ未来クラブより、結婚支援に造詣が深く活動意欲の高い者を委嘱した。 ⑥ 主任業務の対外的な窓口及び先導役をコンシェルジュが担い、実務はとちぎ結婚支援センターと連携して対応する。								
	2			地域・結婚支援事業の実施方法等で助言や助力を希望する市町に対し、コンシェルジュが窓口となりとちぎ結婚支援 「現 センターと連携して必要な支援を実施 ・企業や団体が集まる場等を活用し、とちぎ未来クラブの結婚支援事業に賛同する「とちぎ結婚応援企業・団体」 の新規獲得を実施								
個別事業	別 3 報への助言・立会等				結婚支援センターと追 結婚支援センターイク ウ地域団体が開催する	ベントシス	ステムの活用	助言	、促進	婚記	「イベントへの助	言、広報補助
木の内容	業 結婚支援事業未実 の 4 管内市町への働き			•結婚支	を接事業を実施してい	ない市民	町へ、必要に	応じ	て県と連動した個	動き :	かけを実施	
TT TT	5	関係先(管) 内結婚サポター、企業等 報共有	ートセン	•結婚支	未来クラブ(事務局: / 「援コンシェルジュの」 報のSNS発信							るポジティブイメージや
	6	その他、各対 が が を 技 接 を 技 報 面 から 支 め に 必 要 と 業 務	術面・情 援するた	市 ・市町や地域の要望に応じた結婚支援に関する要望に応じた対応 た								

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	昏支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育.	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5(R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	個別市町訪問数/管内市町数	%	60 (R7年度)	56 (R6. 12)
	2	企業・団体への個別訪問数	社	36 (R7年度)	31 (R6. 12)
	3	コンシェルジュの協働により実施したイベント回数	□	4 (R7年度)	6(R6年度見込)
	4				
個別事業の重要業績評	(5)				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	市町職員のコンシェルジュ事業に対する満足度	%	70 (R7年度)	
	5	結婚支援に係る取組をはじめた市町数	市町	20 (R7年度)	18 (R6年度)
	6	とちぎ結婚応援企業・団体数	社	150 (R8. 3)	122 (R6. 11. 30)
	7				
	8				

自治体名 栃木県

生活文化スポーツ部県民協働推進課 本事業の担当部局名

_											
4	事業メニュー	ライフデザイン・斜	結婚支援重点推進	事業							
	区分	一般メニュー									
関道	車事業メニュー	1_1_3 出会いの機会・場の提供に関する取組									
1	個別事業名	企業間交流イベ	ント事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続						
	実施期間	令和7年4月1日			令和	[18年	₹3月31日	事業開始年度	令和5年度		
総事	事業費(A)(円)	1,75	2,080	寄付金その	他の収入予定額(B))(円)	0	差引額(A-B)(円)	1,752,080		
	:費支出予定額(円) 間助率を乗じる前の額				1,75	52,08	80				
	区分	諸謝金	需用費	役務費							
	総事業費	0	0		0		0	0	0		
費	対象経費支出予定額	0	0		0		0	0	0		
用	対象外経費支出予定額	0	0	0			0	0	0		
内訳	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品	購入費		負担金	補助金	計		
	総事業費	1, 752, 080	0		0		0	0	1, 752, 080		
円	対象経費支出予定額	1, 752, 080	0		0		0	0	1, 752, 080		
	対象外経費支出予定額	0	0		0		0	0	0		
	0	※上記対象経費	支出予定額に本る	を付金の)対象外と	なる	経費は含まれ	ていない。			
対策の	における少子化 全体像及びその 本個別事業の位	結婚や子育てをリごと創生法に基づ 進プラン」に掲げた 行うことで、少子化 く本個別事業の位 ・とちぎ未来クリカト 結びムーブメントを ・市町と協力した婚	く計画「とちぎ創生15 重点事項により、結 トレンドの反転を図る が実施する結婚支援 か地で開催することで か創出を目指す。 活イベントを開催す。 事業の都道府県主導	こより、本 (いちご) 婚、妊娠 事業に ま ることで、	県において: 戦略」(R2〜 ・出産、子育 ・出産、子育 を での出会いの 婚活イベンI	7年月でといっき場を	度)に加え、R7年 いった、ライフス・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3月に策定した「栃木デージごとの切れ目 体」の従業員を主な 、官民一体となった イベントを通して提付	対象とした企業間交 オールとちぎでの縁		

	番号	項目	内容
個別事業の		市町や企業と連動した交流イベント	・主にとちぎ結婚応援企業・団体従業員を対象とした、企業間交流イベントを開催 ・とちぎ結婚支援コンシェルジュを中心にイベントを企画 ・運営はコンシェルジュと結婚支援センターが連動 ・会場確保や参加者募集等、必要に応じて市町の協力を得て開催 ・イベント内でコミュニケーションカアップ講座等のスキルアップセミナーを実施 ・イベント参加者に対し、とちぎ結婚支援センターの登録促進を実施 ・目標開催回数:4回、目標参加者数:160人
内	<過年	度の本個別事業で浮か	び上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

コンシェルジュの精力的な活動により、結婚支援に取り組む市町数及びとちぎ結婚応援企業・団体数が増加したところ。昨年度に引き続き、とちぎ結婚応援企業・団体の従業員を対象とした交流イベントを複数回開催することで、出会いの場の創出と企業・団体の婚活気運の高まりを狙う とともに、市町や企業と協力して開催することで市町や企業に対して婚活イベントのノウハウを提供し、市町や企業におけるさらなる結婚支援事業の実施に繋げる。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	§支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育.	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	参加者数	人	160 (R7年度)	124 (R6. 12)
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	(5)				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	77. 4 (R6. 12)
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	80. 6 (R6. 12)
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	80. 6 (R6. 12)
	4	マッチング組数	組	70 (R7年度)	33 (R6. 12)
	⑤				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

=	事業メニュー 結婚_妊娠・出産_子育でに温かい社会づくり・気運醸成事業												
	区分	>	一般メニュー										
関道	重事業と	/ ニュー	3_1 その他、	結婚	₺、妊娠•出産、子育	育てに温	かい社会で	づくり	•気運醸成事業	<u> </u>			
1	個別事:	業名	とちぎ結婚応	おぎ結婚応援企業・団体活動促進事業 新規ノ継続 (一般財源での 実施も含む) 継続									
	実施期	間	令和	07年	∓4月1日	~	令和	18年	三3月31日	事業開始年度	令和6年度		
総事	事業費(A)(円)	3,100,020				也の収入予定額(B)((円)	0	差引額(A-B)(円)	3,100,020		
	費支出 助率を乗じ	予定額(円) ^{る前の額}					3,100	0,02	20				
	1	区分	諸謝金		賃金	報	償費		旅費	需用費	役務費		
	総	事業費		0	0		0		0	0	0		
費	対象経費	費支出予定額		0	0		0		0	0	0		
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0	0	0		
内訳		区分	委託料		使用料及び賃借料	備品	購入費		負担金	補助金	計		
	総	事業費	3, 100, 0	20	0		0		0	0	3, 100, 020		
円	対象経費	貴支出予定額	3, 100, 0	20	0	0		0	0	3, 100, 020			
	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0	0	0		
		0	※上記対象網	径費	支出予定額に本る	を付金の	対象外とな	よる	経費は含まれ	ていない。			
対策の	全体像 本個別	る少子化 !及びその 事業の位	結婚や子育でと創生法には 進プラン」に掲行うことで、少く本個別事業・とちぎ結婚支	てを耳ばた でを取りた できる	重点事項により、結トレンドの反転を図る	により、本 (いちご) 婚、妊娠 ら。 婚支援事	県においても 戦略」(R2〜7 ·出産、子育で	7年度 てとい	度)に加え、R7年3 いった、ライフステ	月に策定した「栃木 一ジごとの切れ目 ⁷	:県こどもまんなか推		
	番号	項	目					ſ	内容				
個	1	若手異業種 実施	·参	加老	≥業・団体従業員を対 所は既婚者も含めた2 前向きな気持ちを持つ	0~30歳	までの応援企	`業•	団体の従業員と		の交流を通じて結婚 定。		
別事業の内	2	応援企業向 援情報発信	け結婚支・応援企業・団体の取組事例を紹介するリーフレットを年2回作成し、応援・企業団体に送付する。 ・リーフレットを受け取った結婚応援企業・団体が、他企業の先進的な取組をもとに、更なる結婚支援の取組を始める契機とする。 ・内容は電子化し、県ホームページ等でも公開することで県内の気運醸成に繋げる。										
容	内												

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19 (R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	香支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	積値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	交流会の参加人数	人	160 (R7年度)	
	2	応援企業の登録数	団体	150 (R8. 3)	122 (R6. 11. 30)
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (R7年度)	
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	応援企業のうち新たに取り組むべき項目があると答えた企業	%	70 (R7年度)	
	5				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

_													
Į	事業メニ		ライフデザイン	結婚支援重点推進	事業								
	区分	}	重点メニュー										
関	連事業	メニュー	1_2_2 若い世代	1_2_2 若い世代の描くライフデザイン支援									
	個別事	業名	若者ライフデザイン支援事業 (・							新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続		
	実施其	期間	令和7	年4月1日	~	令和	08年3月	31日		事業開始年度	令和6年度		
総事	事業費((A)(円)	8,5	8,592,000)(円)	0		差引額(A-B)(円)	8,592,000		
	を費支出 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	予定額(円) じる前の額				8,59	92,000						
		区分	諸謝金	賃金	報償費		旅	費		需用費	役務費		
	総	事業費	0	0		0		0		0	0		
費	対象経	費支出予定額	0	0		0		0		0	0		
用	対象外紀	圣費支出予定額	0	0		0		0		0	0		
内 訳		区分	委託料	使用料及び賃借料	備品	購入費	負担	金		補助金	計		
	総	事業費	8, 592, 000	0		0		0		0	8, 592, 000		
円	対象経	費支出予定額	8, 592, 000	0	0			0		0	8, 592, 000		
	対象外紀	圣費支出予定額	0	0		0		0		0	0		
		0	※上記対象経	費支出予定額に本語	交付金0)対象外と	なる経費	は含まれ	てし	いない。			
対策σ)全体像)本個別	る少子化 なびその 事業の位	ごと創生法に基づ 進プラン」に掲げ 行うことで、少子 <本個別事業の いずれは結婚す ているイメージが	:取り巻く環境の変化! がく計画「とちぎ創生18 た重点事項により、結 とトレンドの反転を図った。 位置付け> るつもりだが、具体的できないこと」をあげて を考える上で必要と	(いちご) 婚、妊娠 る。 な行動を ないること	戦略」(R2~ ・出産、子育 起こしていな などから、若	7年度)にかてといったい若者が多い若者が思い	ロえ、R7年 、ライフス・ らいことや 苗くライフ・	3月 テ 結ザ	に策定した「栃木 ジごとの切れ目が がでいるでは、 がでいるでは、 がでいるでは、 がでいるでは、 でいるでも でいるでは、 でいるでも でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいると でいるでも とっと でいるでも とっと でいるでも とっと でいると と でいると と と と と と と と と と と と と と と と と と と	県こどもまんなか推 ない支援を積極的に として「自分が結婚し くために、結婚を含		
	番号	項	_				内容						
	1	ライフデザ <i>ィ</i> 催		生・大学生・新社会人 :開催する。(5回、200			事、結婚、好	E娠出産∙	子育	て等について主	体的に考えるための		
個	2	ライフデザ <i>ィ</i> 作		デザインを考えること B発信媒体等で周知す	->			- 3			加画を制作し、自治体		
別事業	3	ライフデザ <i>ィ</i> イト更新	イン専用サ ライフ	デザインに関する啓多	きを図るた	こめ、ライフテ	ザイン専用	引サイトの'	管理	運営を行うととも	に充実を図っていく。		
内容	4	報告会開催	若者の る。	若者のライフデザインに関する関心の向上を図るため、市町等との共同によりライフデザイン報告会を開催する。									
	結婚や イフデ+	こどもに関す ザイン支援の	る人生の選択を	ために、若者がライフ	られていた	い人を始め	、いかに幅	広い層に	_		う点が課題であり、ラ 画の制作を行うなど、		

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)		
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)		
定量的成果目標	とちぎ結婚	香支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)		
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)		
		項目	単位	直近の実績値(時点)			
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)		
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)		
	婚姻率			3. 6	(R5年)		
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
	番号	項目					
		(アウトプット)					
	1	ライフデザイン講座の参加人数(単年度)	人	200 (R7年度)			
	2						
	3						
	4						
個別事業の重要業績評	5						
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)					
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	60 (R7年度)			
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%				
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%				
	4	将来の様々なライフイベントを意識し、主体的に対応できる自信がついた割合	%	60 (R7年度)			
	5						
	6						
	7						
	8						

自治体名 栃木県

本事業の担当部局名 生活文化スポーツ部人権男女共同参画課

					<u> </u>		<u> </u>	7,0		作力ス六円少し				
=	事業メニ	ــــــ	- 結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業 重点メニュー											
	区分		重点メニュー											
関道	重事業メ	ニュー	3_2_3 育児休業取得と家事・育児分担の促進											
,	個別事	業名	とも家事が	パートナ	ー企業との連携仮	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続							
	実施期	間	令和7年4月1日				令和	18年	≢3月31日	事業開始年度	令和6年度			
総事	事業費(/	A)(円)		4,03	6,076	寄付金その他	也の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	4,036,076			
	:費支出う 助率を乗じ	予定額(円) る前の額					4,03	36,0	76					
	[区分	諸謝	金	賃金	報	償費		旅費	需用費	役務費			
	総	事業費		0 0 0 0					0	0	0			
費	対象経費	支出予定額		0	0		0		0	0	0			
用	対象外経	費支出予定額		0	0	0			0	0	0			
内 訳	[区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品	購入費		負担金	補助金	計			
	総	事業費	4, 036	6, 076	0		0		0	0	4, 036, 076			
円	対象経費	費支出予定額	4, 036	6, 076	0		0		0	0	4, 036, 076			
	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0	0	0			
	(0	※上記対	象経費	支出予定額に本る	を付金の	対象外と	なる	経費は含まれ	ていない。				
対策の	全体像 本個別	る少子化 及びその 事業の位	結婚を は が は に で が に で で で で に で で で に で で で で に で の に で の に の の の の の の の の の の の の の	育てを引 に掲げたに に掲げた化 な 事業策目する。 の位 にを目する。 の位 になる。	く計画「とちぎ創生15 ・重点事項により、結ま ・トレンドの反転を図る ・ で置付け> ・た「栃木県こどもまん	により、本 (いちご) (いち妊娠・ かかに連り軽 が連り軽 が進退減 と。	県において 戦略」(R2〜 ・出産、子育 ・出産、子育 ・出産、子育 ・世プラン」に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7年) てと 掲げ く。	度)に加え、R7年 いった、ライフス た重点事項の一 な家事」を冠した。	3月に策定した「栃オテージごとの切れ目 テージごとの切れ目 つである理想のとも キャンペーン等を実力	とから、まち・ひと・し 、県こどもまんなか推 ない支援を積極的に 働き・とも育てを実現 もし、外部サービスの まれる。			
	番号	項	目						内容					

	番号	項目	内容
個別事	1	ク」の推進	(1) 毎月第3日曜日(家庭の日)からの1週間を「とも家事応援ウィーク」とし、とも家事パートナー企業が主体となり、とも家事を冠したキャンペーンを毎月実施する。(企業側負担で実施) 例1)とも家事普及に向けた周知協力 等 具体例・・・広告での周知、店内掲示、特設コーナー設置、アプリ掲載、店内動画放送 など例2) 家事代行サービス事業の利用割引 具体例・・・家事代行3,300円割引クーポン300枚配布例3) お惣菜、弁当、便利家電等の割引販売 具体例・・・定価から5%又は10%引き ※ゼロ予算事業
事業の内容	2	掘り起こし及び協賛企 業との連携	(2)「とも家事」の啓発資材※を作成し企業へ提供及び貸出しを行う。 ※のぼり&ポスターデータ、推進キャラともジカの着ぐるみ (3) 11月22日のとも家事の日に合わせて協賛企業によるブース出展を主としたとも家事啓発イベントの開催。 (4)(1)の「とも家事応援ウィーク」でのキャンペーン情報を、とちぎウーマンナビのHPに掲載・周知する。 (5) 家事・育児の負担軽減に関するサービス概要等を同HPに掲載する。 (6) 協賛企業の掘り起こしを実施する。 ※(2) ~(6) を県委託事業(公募型プロポーザル方式)として実施

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

・外部サービスの更なる利用促進を図るため、各協賛企業の特色を生かした企業ブースを主とするイベントを開催し、外部サービスを利用する きっかけづくりの場を提供することで、家事・育児の負担軽減に繋げていく。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊			1.59 (R7年)	1.19 (R5年)
7 1 10/11/N - 11 11 1 - 2 - 2	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	香支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育.	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	協賛店舗数	店舗	300(R7年度)	100 (R6年度見込)
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	(5)				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	とも家事の認知度(ネットアンケートにより調査)	%	60 (R7年度)	32.9 (R6年度)
	5				
	6				
	7				
	8				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分)

自治体名 栃木県

生活文化スポーツ部人権男女共同参画課 本事業の担当部局名

=	事業メニ	.ュー	結婚_妊娠	ℯ出産	_子育てに温かいネ	t会づくり	· 気運醸成	事業				
	区分	•	一般メニュ	1—								
関連	連事業と	ィニュー	3_1 その作	その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業								
4	個別事	業名	とも家事F	新規/継続 (一般財源での 実施も含む) 接続 (本格								
	実施期	間	4	令和7年	∓4月1日	~	令和	18年3月31日		事業開始年度	令和6年原	度
総事	事業費(A)(円)		5,21	8,620	寄付金その他	の収入予定額(B)	(円) 0		差引額(A-B)(円)	5,218,620)
	費支出 ⁻ 助率を乗じ	予定額(円) る前の額					5,21	8,620				
	Į.	区分	諸謝	金	賃金	報'	賞費	旅費		需用費	役務費	
	総	事業費		0	0		0	C		0		0
費	対象経費	費支出予定額		0	0		0	C)	0		0
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0	C		0		0
内 訳	[区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品	購入費	負担金		補助金	計	
	総	事業費	5, 218	3, 620	0		0	C		0	5, 218,	620
円	対象経費	費支出予定額	5, 218	3, 620	0		0	C	0	5, 218,	620	
	対象外経	費支出予定額		0 0 0 0								0
		0	※上記対	象経費	支出予定額に本る	を付金の	対象外とな	なる経費は含ま	れて	いない。		
対策の	全体像 本個別	る少子化 及びその 事業の位	結婚を はかり はかり はかり にかり にかり にかり にかり にかり にかり にかり に	育てをでいたに掲げた化 ない 業 策目県 にをり、 は、 とは、 とと	少子化対策の全体係取り巻く環境の変化に く計画「とちぎ創生15 重点事項により、結 トレンドの反転を図る でとも家事の機運ないなで家事をシェア トナーや家族だけで	こより、本 (いちごw・ (いち妊娠・ んな啓醸 か発す もな を醸すること。	県においても 戦略」(R2~1 出産、子育・ 世産、子育・ 進プラン」には 画を通じて・ あことで、家事	7年度)に加え、R7でといった、ライフ でといった、ライフ 島げた重点事項の 寿・育児負担の軽	'年3月 ステー 一つ幅 減を図	Iに策定した「栃木-ジごとの切れ目 である理想のともない年代に対し、 引っていく。	、県こどもまんなない支援を積極 ない支援を積極 動き・とも育てを 一層とも家事の	か推的に実現
	番号	項	_					内容				
<i>(</i> ⊞	1	映画館にお 事啓発動画	の配信	・配信す ・全スク ※より帽 ⇒映画 所で家	カ所(県北・県央2カ 「る動画は、令和5年 ーリンにて3ヶ月間の 届広い年代による視取 館は個人や友人同士 事をシェアする楽しさ	度に作成)配信を予 悪が見込る こ、カップル の伝わる	した15秒CM ウ定している。 まれる夏休み レ、家族連れ 動画を配信	を活用。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	やグル マ事に	·一プの集まる場 興味を示さない履	層を含めより広範	
値別事 業		とも家事推議	進キャラク	・とも家	ブループに対しとも家 事推進キャラクター「							()を

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

・作成した動画をYoutube及びInstagramにより配信。

・配信期間は、とも家事の日(11/22)を含む前後3ヶ月程度を予定。

とも家事推進キャラク・ともなっを活用した動画広 作成。

告

2

業

の

内

・県ホームページにおけるとも家事啓発動画の掲載はもとより、映画館やSNSなどを活用した動画配信を行い、とも家事無関心層への情報発信 力を高めることで、とも家事への更なる理解促進及び認知度向上を図っていく。

⇒30代から40代の子育て世代に訴求力の高いSNSを活用することで、家事時間の短縮や家事負担の軽減など、身近なところからとも家事を実践するきっかけを与え、家庭と仕事の両立支援に寄与することができる。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	§支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育.	見休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	[績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	広告動画の配信回数	回	610,000 (R7年度)	991,383 (R6年度見込)
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	(5)				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	とも家事の認知度(ネットアンケートにより調査)	%	60 (R7年度)	
	⑤				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

本事業の担当部局名 保健福祉部こども政策課

い「プッシュ型の広告動画配信」が有効である。 ・そのため、15秒バージョン(広告配信用)については、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeを活用した広告配信をメインで行うほか、多くのターゲット層の来場が期待でき、また、同時に子や孫を						1 7 515 52	N N	. 1 1 1	.HPCC 055/R	H/K	
関連事業メニュー 3.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気速腫成事業 新規/ 雑様	Ę	事業メニ	. _	結婚_妊娠	・出産	_子育てに温かいネ	t会づくり・気運配	譲成事	業		
佐田州事業名		区分	>	一般メニュ	ı—						
(円)	関道	重事業ス	ノニュー	3_1 その他	也、結婚	\$、妊娠•出産、子育	育てに温かい社会	うづく	り・気運醸成事	 業	
 総事業費(A)(円) 16,916,000	1	個別事:	業名	とちぎ結婚	∳•子育	て気運醸成事業				(一般財源での	継続
対象経費支出予定額(円)		実施期	間	f	↑和7年	₹4月1日	~ 4	和84	年3月31日	事業開始年度	令和6年度
接続 接換 接換 接換 接換 接換 接換 接換	総事	総事業費(A)(円)			16,91	6,000	寄付金その他の収入予定額	i(B)(円)	0	差引額(A-B)(円	16,916,000
# 事業費 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							16	,916,0	000		
対象経験支出予定額			区分	諸謝金	金	賃金	報償費		旅費	需用費	役務費
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		総	事業費		0	0	()	0	0	0
田内内 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	費	対象経費	費支出予定額		0	0	()	0	0	0
田田	用	対象外経	費支出予定額		0	0	()	0	0	0
 総事業費 16,916,000 0 0 0 0 16,916,000			区分	委託》	料	使用料及び賃借料	備品購入費		負担金	補助金	計
	$\overline{}$	総	事業費	16, 916	6, 000	0	()	0	0	16, 916, 000
※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。 〈自治体における少子化対策の全体像〉※全事業共通 結婚や子育てを取り巻く環境の変化により、本県においても出生数や婚姻数が減少を続けていることから、まち・ひと・し ごと創生法に基づく計画にとちぎ創生15(いちご)戦略(R2~7年度)に加え、R7年3月に策定した「栃木県こどもまんなか推 進ブラン」に掲げた重点事項により、結婚、妊娠・出産、子育でといった、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極的に 行うことで、少子化トレンドの反転を図る。 自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け> R7年3月に策定した「栃木県こどもまんなか推進ブラン」に掲げた重点事項などにより、結婚、妊娠・出産、子育でといった、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極的に行い、県としての対策を強化している。しかしながら、県が実施している各種の取組が県民に十分に浸透していない面があることから、本事業で、本県の子育で施策等について、県民向けの重点的なPRを行い、認知度向上や利用促進を図ることで、結婚、妊娠・出産、子育でに係る県民の行動変容に向けた気運を盛り上げ、出生数の増加や出生率の改善などにつなげていく。 番号 項目 内容 いずアシュ型の広告動画配信が有効である。・そのため、比較的興味が低い人でも動画が目に触れる機会を作り、情報を埋もれるせずに届けられる可能性が高い「ブッシュ型の広告動画配信」が有効である。・そのため、15秒パージョン(広告配信用)については、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeを活用した広告配信をメインで行うまか、多くのデット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeを活用した広告配信をメインで行うまか、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeを活用した広告配信をメインで行うまか、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeを活用した広告配信をメインで行うまか、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeをでは、また、同時に子や孫を持つ祖父母世代などへの訴求も期待できるプロスポーツ会場で動画を放映する。なお、R7年度の広告配信期間は、4月下旬から翌年1月上旬までのも外月間を予定している。・また、30秒パージョンに、原刊中の単分はYouTube・アンネル、県子育で支援ポータルサイト(とこぼ)などの既存広域に掲載し、15秒パージョン(広告配信用)の宣伝効果を活用することにより多くの県民の視聴を引き出し、子育で施策等の認知度向上に結びつけていく。	円	対象経費	費支出予定額	16, 916	5, 000	0	()	0	0	16, 916, 000
本語		対象外経	費支出予定額		0	0	()	0	0	0
結婚や子育でを取り巻く環境の変化により、本県においても出生数や婚姻数が減少を続けていることから、まち・ひと・し ごと創生法に基づ計画にちぎ創生15(いちご)戦略」(R2~7年度)に加え、R7年3月に策定した「栃木県にどもまんなか推 進ブラン」に掲げた重点事項により、結婚、妊娠・出産、子育でといった、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極的に 行うことで、少子化トレンドの反転を図る。 自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け> R7年3月に策定した「栃木県こどもまんなか推進プラン」に掲げた重点事項などにより、結婚、妊娠・出産、子育でといっ た、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極的に行い、県としての対策を強化している。しかしながら、県が実施している各種の取組が県民に十分に浸透していない面があることから、本事業で、本県の子育で施策等について、県民向けの重点的なPRを行い、認知度向上や利用促進を図ることで、結婚、妊娠・出産、子育でに係る県民の行動変容に向けた気運を盛り上げ、出生数の増加や出生率の改善などにつなげていく。 番号 項目 内容 ショート動画を活用した「子育で施策等の認知度向上」に向けては、施策紹介動画を一人でも多くの県民に実際に見てもらう必要があるため、比較的興味が低い人でも動画が目に触れる機会を作り、情報を埋もれさせずに届けられる可能性が高い「ブッシュ型の広告動画配信」が有効である。・そのため、に移り興味が低い人でも動画が目に触れる機会を作り、情報を埋もれさせずに届けられる可能性が高い「ブッシュ型の広告動画配信」が有効である。・そのため、に移り興味が低い人でも動画が目に関いては、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられるYouTubeを活用した広告配信をメインで行うほか、多くのターゲット層の来場が期待でき、また、同時に子や孫を持つ祖父母世代などへの訴求も期待できるプロスポーツ会場で動画を放映する。なお、R7年度の広告配信期間は、4月下旬から翌年1月上旬までの9か月間を予している。・また、30秒パージョンは、県HPや県公式YouTubeチャンネル、県子育て支援ポータルサイト(とこぼ)などの既存広告媒体に掲載し、15秒パージョン(広告配信用)の宣伝効果を活用することにより多くの県民の視聴を引き出し、子育で施策等の認知度向上に結びつけていく。			0	※上記対	象経費	支出予定額に本る	交付金の対象外	となる	る経費は含まれ	ていない。	
・「子育て施策等の認知度向上」に向けては、施策紹介動画を一人でも多くの県民に実際に見てもらう必要があるため、比較的興味が低い人でも動画が目に触れる機会を作り、情報を埋もれさせずに届けられる可能性が高い「プッシュ型の広告動画配信」が有効である。 ・そのため、15秒バージョン(広告配信用)については、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられるYouTubeを活用した広告配信をメインで行うほか、多くのターゲット層の来場が期待でき、また、同時に子や孫を持つ祖父母世代などへの訴求も期待できるプロスポーツ会場で動画を放映する。なお、R7年度の広告配信期間は、4月下旬から翌年1月上旬までの9か月間を予定している。 ・また、30秒バージョンは、県HPや県公式YouTubeチャンネル、県子育て支援ポータルサイト(とこぽ)などの既存広告媒体に掲載し、15秒バージョン(広告配信用)の宣伝効果を活用することにより多くの県民の視聴を引き出し、子育て施策等の認知度向上に結びつけていく。	対策の 中での	全体像 本個別	及びその	結婚や子法に と別ラン」に で、 く本個別事 た、各種の に、各種の に、各種の に、各種の に、各種の に、各種の に、各種の に、各種の に、各種の に、各種の に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	育てをすべた。 電気 では できずい できずい できずい できずい でき	取り巻く環境の変化に く計画「とちぎ創生15 重点事項により、結 トレンドの反転を図る でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でい。 でいる。 でい	こより、本県におい (いちご)戦略」(R2 婚、妊娠・出産、子 ち。 しなか推進プラン」 援を積極的に行い いない面があるこ 足進を図ることで、	~ 7 て 掲 県 か ば た は が よ た た る た る た る た る た る た る た る た る た る	度)に加え、R7年 いった、ライフス かた重点事項など しての対策を強化 、本事業で、本県	3月に策定した「栃 テージごとの切れ目 により、結婚、妊娠 としている。しかしな の子育て施策等に	木県こどもまんなか推 目ない支援を積極的に ・出産、子育てといっ がら、県が実施してい ついて、県民向けの重
た情報発信 るため、比較的興味が低い人でも動画が目に触れる機会を作り、情報を埋もれさせずに届けられる可能性が高い「プッシュ型の広告動画配信」が有効である。 ・そのため、15秒バージョン(広告配信用)については、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeを活用した広告配信をメインで行うほか、多くのターゲット層の来場が期待でき、また、同時に子や孫を持つ祖父母世代などへの訴求も期待できるプロスポーツ会場で動画を放映する。なお、R7年度の広告配信期間は、4月下旬から翌年1月上旬までの9か月間を予定している。 ・また、30秒バージョンは、県HPや県公式YouTubeチャンネル、県子育て支援ポータルサイト(とこぼ)などの既存広告媒体に掲載し、15秒バージョン(広告配信用)の宣伝効果を活用することにより多くの県民の視聴を引き出し、子育て施策等の認知度向上に結びつけていく。		番号	項	目					内容		
- <週平度の本値別事業で浮かの上かった課題の分析及のそれに対する取組(ステップアップ)>	別事業の内		た情報発信	るため、比較的興味が低い人でも動画が目に触れる機会を作り、情報を埋もれさせずに届けられる可能性が高い「ブッシュ型の広告動画配信」が有効である。 ・そのため、15秒バージョン(広告配信用)については、ターゲット層の利用頻度が最も高いと考えられる YouTubeを活用した広告配信をメインで行うほか、多くのターゲット層の来場が期待でき、また、同時に子や孫を持つ祖父母世代などへの訴求も期待できるプロスポーツ会場で動画を放映する。なお、R7年度の広告配信期間は、4月下旬から翌年1月上旬までの9か月間を予定している。 ・また、30秒バージョンは、県HPや県公式YouTubeチャンネル、県子育て支援ポータルサイト(とこぼ)などの既存広告媒体に掲載し、15秒バージョン(広告配信用)の宣伝効果を活用することにより多くの県民の視聴を引き							
		「中 く過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>									

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	§支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	積値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	ユーチューブ動画広告のリーチ数(広告を見た県民数)	人	400,000 (R7年度)	
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	子育て支援ポータルサイト(とこぽ)の年間セッション数(訪問数)	回	110,000 (R7年度)	90,000 (R6年度見込)
	5				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

本事業の担当部局名 保健福祉部こども政策課

-													
4	事業メニ	-1-	結婚_妊娠	・出産	_子育てに温かいネ	t会づくり	▪気運醸成	支事業					
	区分	}	重点メニュ	ı—									
関道	連事業と	メニュー	3_2_2 地垣	は全体で	で結婚・子育てを応	援する気	運釀成						
1	個別事	業名	とちぎ子育	** おおり おおり おおり おおり おおり は おおり とうぎ子育て家族応援事業 *** といって おおり は おいり まん は おいり まん もっと は おいり まん もっと は は かい まん もっと は は かい まん もっと は は かい まん もっと は は は は は は は は は は は は は は は は は は は								続	
	実施期	間	4	₹4月1日	~	令和	18年3月	31日		事業開始年度	平成1	9年度	
総事	事業費(A)(円)		3,08	6,710	寄付金その他の	の収入予定額(B)	(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,086	,710
	費支出 ⁻ 助率を乗じ	予定額(円) る前の額					3,08	6,710					
		区分	諸謝:	諸謝金 賃金 報償費 旅費 需用費 役務費							务費		
	総	事業費		0	0		0		0		0		0
費	対象経費	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
内 訳		区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品則		負担	金		補助金	Ē	+
	総	事業費	3, 086	5, 710	0		0		0		0	3,	086, 710
円	対象経費	費支出予定額	3, 086	5, 710	0		0		0		0	3,	086, 710
	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
		0	※上記対	象経費	支出予定額に本る	を付金の?	対象外とな	なる経費	は含まれ	て	いない。		
(全自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 結婚や子育でを取り巻く環境の変化により、本県においても出生数や婚姻数が減少を続けていることから、まち・ごと創生法に基づく計画「とちぎ創生15(いちご)戦略」(R2~7年度)に加え、R7年3月に策定した「栃木県こどもまん進ブラン」に掲げた重点事項により、結婚、妊娠・出産、子育でといった、ライフステージごとの切れ目ない支援を積行うことで、少子化トレンドの反転を図る。 (本個別事業の位置付け> R7年3月に策定した「栃木県こどもまんなか推進プラン」に掲げた重点事項などにより、結婚、妊娠・出産、子育でた、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極的に行い、県としての対策を強化している。その中で、本個別事業においては、企業や商店等が子育で家庭(妊娠中の方も含む)を支援する体制を整備するり、子育でに関する社会全体での取組の促進、子育でに優しい社会意識の醸成等を図り、こどもたちを健やかに産ることのできる社会を構築する。										んなか推 積極的に てといっ でることによ			
	番号	項						内容					
個別事業	1	とちぎ笑顔がカード事業の			を顔つぎつぎカード事 美等のリストをもとに、					E施	した協賛店拡大	の取組にお	いて収集
業の内容	内 内												

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19 (R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	香支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育.	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	協賛店舗数	店舗	3,500 (R7年度)	3, 085 (R6. 11)
	2	新規協賛店舗数	店舗	50 (R7年度)	
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	(5)				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	デジタル版カード登録件数	枚	25,000 (R7年度)	9, 216 (R6. 11)
	⑤				
	6				
	7				
	8				

業 の

内

容

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分)

自治体名 栃木県

本事業の担当部局名 産業労働観光部労働政策課

1	事業メニ	結婚_妊娠・出産_子育でに温かい社会づくり・気運醸成事業											
	区分	\	重点メニュ	1—									
関道	連事業と	ノニュー	3_2_3 育児	1休業耳	な得と家事・育児分	担の促迫	<u></u>						
1	個別事:	業名	とちぎ男性	ちぎ男性育休応援事業 新規/継続 (一般財源での 実施も含む)							売		
	実施期	間	2	令和7年	∓4月1日	~	令和	08年	F3月31日		事業開始年度	令和5	年度
総事	事業費(A)(円)		1,58	5,826	寄付金その他	の収入予定額(B))(円)	0		差引額(A-B)(円)	1,585,	826
	費支出 ⁻ 助率を乗じ	予定額(円) る前の額				l .	1,58	35,82	26				
		区分	諸謝	金	賃金	報	賞費		旅費		需用費	役務	費
	総	事業費		0	0		0		0		0		0
費	対象経費	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
内訳		区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品	購入費		負担金		補助金	計	
	総	事業費	1, 585	5, 826	0		0		0		0	1, 5	85, 826
円	対象経費	費支出予定額	1, 585	5, 826	0		0		0		0	1, 5	85, 826
	対象外経	費支出予定額		0	0		0		0		0		0
		<u> </u>	<自治体に	こおける	支出予定額に本る 少子化対策の全体修取り巻く環境の変化に	\$>※全事	業共通					L. ++	-71 b.1
		る少子化 及びその	ごと創生法 進プラン」	に基づいる。	なり会\	(いちご)単婚、妊娠・	战略」(R2~	7年月	度) に加え、R7年	3月	に策定した「栃木	「県こどもまん	しなか推
	本個別	事業の位	性が育児はすることか	木業の取 木業等を ら、本個	Z置付け> Z得日数が多いほど、 取得しない理由に「覧 別事業は、企業(当 を両立できる環境づく	育児休業 事者である	取得への職 る従業員含	場の む)に	無理解」等、制 対する周知・啓	度が	あっても利用して	うらい職場環	境が存在
	番号	項	B						内容				
		仕事と子育 支援セミナ-		生活との	業の【経営者・管理職 の両立ができる職場取 1:それぞれの立場で	環境づくり	のため、委	託に。	より次のとおりも	2ミナ	一を開催する。	t事と子育て	等の家庭
				〇参加	:2回(経営者・管理職 者数(予定):延べ100		業員対象名	各1回]、オンライン形	式)			
個別事業の	・対象者:経営者、人事労務担当者、各部門の管理職、現場リーダーなど ・第1部:講演(育休や両立支援制度内容・意義・メリット、組織マネジメント方法など)												

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

【従業員対象】

アマネジメントなど)

・参加者アンケートの結果、多くの企業が「男性育休を取得しやすい雰囲気づくり」を課題としてあげていることを踏まえ、経営者・管理職及び従 業員(当事者や同僚)のそれぞれの立場で生じやすい不安や課題を解決する内容とする。これにより、意識改革と相互理解を促進し、上司や同 僚が育休取得を後押しし、当事者が気兼ねなく男性育休を取得できる職場環境づくりを目的としたものとする。 ・参加対象をこれまでの人事労務担当者から拡大し、普及・啓発及び気運醸成の効果を高める。

・第2部: 男性育児休業取得者の好事例発表、グループワーク・意見交換等

・対象者: 育休取得者(検討中も含む)やパートナー、育休取得者の同僚、若手従業員など

・第1部:講演(育休や両立支援制度内容・意義・メリット、質の高い育休活用法、夫婦の家事・育児分担、キャリ

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19(R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	う支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	見休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	セミナー参加者数(延べ人数)	人	100(R7年度)	76 (R6年度見込)
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	参加者アンケートによるセミナー満足度	%	70 (R7年度)	100 (R6年度見込)
	(5)				
	6				
	7				
	8				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 栃木県

lini.	事業メニ	-1-	ライフデキ	デイン・ 糸	結婚支援重点推進	事業					
	区分	;	一般メニュ	1-							
関	連事業	メニュー	1_1_1 結如	昏支援も	マンターに関する取	組					
	個別事	業名	移住と連	住と連携した結婚支援強化事業 新規/継続 (一般財源での 実施も含む)							
	実施期	朋間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日 事業開始年						事業開始年度	令和7年度	
総事	事業費(A)(円)		42,516,039 寄付金その他の収入予定額(B) (円) 0 差引額(A-					差引額(A-B)(円)	42,516,039	
	対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額					42,5	16,039				
		区分	諸謝	金	賃金	報償費	旅	費	需用費	役務費	
	総	事業費		0	0	0		0	0	0	
費	対象経済	費支出予定額		0	0	0		0	0	0	
頁 用	対象外紹			0	0	0		0	0	0	
内 訳		区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担	担金	補助金	計	
<u> </u>	総	事業費	42, 51	6, 039	0	0		0	0	42, 516, 039	
円)	対象経済	費支出予定額	42, 51	6, 039	0	0		0	0	42, 516, 039	
	対象外経	全 費支出予定額		0	0	0		0	0	0	
※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。											
対策の	全体像 体個別	る少子化 及びその 事業の位	進プラン」「 行うことで く本個別 とちぎ結 籍し、成婚	ごと創生法に基づく計画「とちぎ創生15(いちご)戦略」(R2~7年度)に加え、R7年3月に策定した「栃木県こどもまんなか推 進ブラン」に掲げた重点事項により、結婚、妊娠・出産、子育てといった、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極的に 行うことで、少子化トレンドの反転を図る。 〈本個別事業の位置付け〉 とちぎ結婚支援センターについて、県外向けのPRを特段行っていないにもかかわらず東京圏在住の会員が50名程度在 着し、成婚実績も複数件あることなどを鑑み、とちぎ結婚支援センターの活動範囲を移住関係施策とも連携しながら東京圏 に広げることで、東京圏在住者の会員登録の促進を図りマッチングの活性化を促し、更なる出会いの機会の創出を図るも のである。							
	番号	項	<u> </u> 				内容				
個別事業の	1	東京圏在住 る結婚支援 化		□ 東京圏在住の未婚者のうち、特に対面での登録を希望する方の需要に対応するため、都内(本県の移住相割							
内容	2	東京圏での 婚支援セン する情報発	ターに関	広告)に	より、とちぎ結婚支持	爰センターが都内で気	と期的に実	施する出引		ング(主に検索連動型 ッライン会員登録への	
	<過年	度の本個別	事業で浮か	び上がっ	た課題の分析及び	それに対する取組(ス	ステップアッ	ップ)>			
	\vdash										

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊	出生率		1.59 (R7年)	1.19 (R5年)
	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	野支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	東京圏在住者のとちぎ結婚支援センターの新規登録者数	人	300(R7年度)	
	2	デジタルマーケティング経由での東京圏在住者のとちぎ結婚支援センターのメールアドレス登録数(仮登録申込数)	人	200 (R7年度)	
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	東京圏在住会員の交際成立延人数(単年度)	人	40 (R7年度)	
	5				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

Ī	事業メニ	.ュー	ライフデザイン	•結婚支援重点推進	生事業					
	区分	•	一般メニュー							
関道	重事業メ	ビニュー	1_1_1 結婚支援	センターに関する耳	文組					
1	個別事	業名	とちぎ結婚支援センターマイナポータル連携事業 新規 新規 新規 新規 新規 実施も含む)							
	実施期	間	令和7	年4月1日	~ 令和	和8年3月31日	事業開始年度	令和7年度		
総事	事業費()	A)(円)	3,8	11,500	寄付金その他の収入予定額(日	0 (円)	差引額(A-B)(円)	3,811,500		
	費支出き	予定額(円) る前の額			3,8	11,500				
	[区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総	事業費	C	0	0	0	0	0		
費	対象経費	費支出予定額	C	0	0	0	0	0		
用	対象外経	費支出予定額	C	0	0	0	0	0		
内 訳	[区分	委託料	使用料及び賃借料	補助金	計				
$\overline{}$	総	事業費	3, 811, 500	0	0	0	0	3, 811, 500		
円	対象経費	費支出予定額	3, 811, 500	0	0	0	0	3, 811, 500		
	対象外経	費支出予定額	C	0	0	0	0	0		
	(0	※上記対象経	費支出予定額に本	交付金の対象外と	なる経費は含まれ	にていない。			
〈自治体における少子化対策の全体像〉※全事業共通 結婚や子育でを取り巻く環境の変化により、本県においても出生数や婚姻数が減少を続けていることから、まち・ひと ごと創生法に基づく計画「とちぎ創生15(いちご)戦略」(R2~7年度)に加え、R7年3月に策定した「栃木県こどもまんな: 進プラン」に掲げた重点事項により、結婚、妊娠・出産、子育でといった、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極に 行うことで、少子化トレンドの反転を図る。 本個別事業の位置付け〉とちぎ結婚支援センターの会員登録の際には、「結婚支援センターの設置運営指針(令和3年3月25日内閣府)」に基 独身証明書等により、独身であることの確認を行っており、利用者の安心感・信頼感につながっている。 一方で独身証明書は本籍地の市区町村のみで発行できるもので、取得に一定のハードルがあり登録の障壁にもない る。										
	番号	項	目			内容				
個別事業		独身証明の 確認のため ム改修		タル庁とも調整の上、 、人確認機能を使い独				_ ,		
の	<過年月	度の本個別	事業で浮かび上た	「った課題の分析及び	それに対する取組(ス	ペテップアップ)>				
内容										
Т										

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	合計特殊			1.59 (R7年)	1.19 (R5年)
7 1 10/11/N - 11 11 1 - 2 - 2	婚姻率			上昇を目指す (R7年)	3.6 (R5年)
定量的成果目標	とちぎ結婚	香支援センターの会員数(累計)	人	8, 510 (R7. 12)	7, 188 (R6. 12)
※全事業共通	男性の育	児休業取得率	%	50.0 (R7年)	38.5 (R4年)
		項目	単位	直近の実	績値(時点)
参考指標	合計特殊	出生率		1. 19	(R5年)
※全事業共通	婚姻件数		件	6, 594	(R5年)
	婚姻率			3. 6	(R5年)
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	とちぎ結婚支援センター登録に際し、本システムを使っての独身確認件数	件	280 (R7年度)	
	2				
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	会員登録に際し大変だったこととして、独身の確認を挙げる割合	%	0	34 (R5年度)
	(5)				
	6				
	7				
	8				

自治体名 栃木県

本事業の担当部局名 保健福祉部こども政策課

4	事業メニ	<u>-</u>	結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業									
	区分	}	一般メニュ	1—								
関連	重事業に	メニュー	3_1 その作	3_1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業								
	個別事:	業名	「喜びのあ	喜びのある子育で」推進キャンペーン展開事業 新規/継続 (一般財源での 実施も含む)							新規	
	実施期	間	令和7年4月1日			~ 令和8年3月31日			事業開始年度	令和7年度		
総事	事業費(A)(円)		15,05	52,000	寄付金その他の収入	定額(B)	(円)		差引額(A-B)(円)	15,052,000	
	費支出・ 助率を乗し	予定額(円) る前の額					15,05	52,000	! <u>-</u>			
		区分	諸謝	金	賃金	報償費		旅費		需用費	 役務費	
	総	事業費		0	0		0	0		0	0	
費	対象経動	費支出予定額		0	0		0	0		0	0	
用	対象外経	費支出予定額		0	0		0	0		0	0	
内訳		区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品購入	費	負担金		補助金	計	
	総	事業費	15, 052	2, 000	0		0	0		0	15, 052, 000	
円	対象経動	貴支出予定額	15, 052	2, 000	0		0	0		0	15, 052, 000	
	対象外経	費支出予定額		0	0		0	0		0	0	
	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれ								てし	いない。		
対策の	全体像 本個別	る少子化 !及びその 事業の位	ごと創生法 進プラン川 行うことで、 く本個別 マスコミの 中で子みる「 のである「	結婚や子育てを取り巻く環境の変化により、本県においても出生数や婚姻数が減少を続けていることから、まち・ひと・しごと創生法に基づく計画「とちぎ創生15(いちご)戦略」(R2~7年度)に加え、R7年3月に策定した「栃木県こどもまんなか推進プラン」に掲げた重点事項により、結婚、妊娠・出産、子育てといった、ライフステージごとの切れ目ない支援を積極的にテうことで、少子化トレンドの反転を図る。 <本個別事業の位置付け> マスコミの報道等により、世の中では「子育ては大変」という風潮が強く、これに触れた子育て未経験の若者世代の頭の中で必要以上に増幅された不安感・精神的負担感を軽減する取組の推進が必要な状況にある。 少子化対策に特効薬がない以上、子育てのプラスの面を地道に広めていくことが重要であるため、子育てのポジティブな面である「子育てで感じる『喜び』」を広くPRL、県内に訴求するためのキャンペーンを展開することで、少子化の一つの要因と考えられる「子育ては大変」というネガティブなイメージの改善を目指していく。								
	番号	項	I	内容								
	1	キッフオフィ 開催	ベントの	 ・県民総ぐるみで「喜びのある子育て」を推進していくに当たり、強いメッセージ発信によって気運醸成を図る。 ・キャンペーンのキックオフ宣言、基調講演、出展コーナーでの取組紹介などによる気運醸成イベントとして実施する。 ・メッセージ性を高めるため、とちぎ未来クラブ会長である知事がキャンペーンのキックオフを宣言するとともに、とちぎ未来クラブ構成団体等のトップが業界全体での取組等を宣言。(予定) ・とちぎ未来クラブ構成団体からの依頼等により、キャンペーンに協賛する企業等の取組を事務局(県)がとりまとめて公表。(予定) ・とちぎ未来クラブ構成団体でもあるマスコミ等を最大限活用し、キャンペーンの展開をPR。(予定) 								
個別事業の内容	2			・県民参加型のイベントとして「喜びのある子育て」に関するコンテスト及び大型商業施設等での入賞作品展示を実施することにより、子育ての喜びやポジティブな面について県民への広い訴求を図る。 ・コンテストは「子育て」をテーマとするエピソード・川柳、写真・動画等の部門で実施することとし、結婚やこどもを持つことを希望する未婚者から多子世帯まで、幅広い層に訴求できるようテーマを複数設定し、こども部門を設け、大人・こどもの双方向の目線から「喜び」を共有する。 ・作品募集のチラシ・ポスターのデザインを工夫し、コンテストの周知から「喜びのある子育て」の訴求を図る。 ・1 結婚やこどもを持つことを希望する未婚者」や「将来こどもを持つことを希望する現在こどものいない夫婦」をメインターゲットに、大型商業施設や県有施設でコンテストの作品展示を複数回行う(無人運営等によりターゲット層の立ち寄りやすさを重視)。								
	3	ントの開催		子イベ ・コンテスト受賞作品を基にした子育て当事者間の交流を通じた「子育ての喜び」の共有により気運醸成を図る。 ・啓発コンテストの表彰式、とちぎ未来クラブ構成団体等の取組内容報告を行うとともに、子育てに関する著名人 トークショーにより、コンテスト入賞作品の内容をもとにした著名人(子育て当事者)による深掘り、子育でに関する不安や悩みの共有による心理的負担の軽減を図る。 ・また、子育て関連の個別ブース出展コーナーを設け、助産師・保健師・心理士等による子育て相談会、企業・団体等の協力による子育てパパ・ママ応援企画なども併せて実施する。								

少子化対策全体の重要 業績評価指標(KPI)及び 定量的成果目標 ※全事業共通 合計特殊出生率 とちぎ結婚支援センターの会員数(累計) 男性の育児休業取得率 1.59 (R7年) 上昇を目指す (R7年) 3. 4. 8,510 (R7.12) 7,186 9% 50.0 (R7年) 38. 参考指標 ※全事業共通 項目 単位 直近の実績値(時) (R5年) 参考指標 ※全事業共通 1.19 (R5年) 婚姻本 1.19 (R5年) 婚姻本 4 6,594 (R5年) がり期本 第号 項目 (アウトブット) 1 キャンペーン参加県民数(イベント来場者・コンテスト参加者の総数) 2 3 人 5,000 (R7年度) ② 3 (4) 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) (アウトカム) の成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) 96	
少子化対策全体の重要 業績評価指標(KPI)及び 定量的成果目標 ※全事業共通 合計特殊出生率 とちぎ結婚支援センターの会員数(累計) 男性の育児休業取得率 1.59 (R7年) 1. 4 8,510 (R7.12) 7,180 50.0 (R7年) 38. 96 50.0 (R7年) 38. 参考指標 ※全事業共通 項目 単位 直近の実績値(時) 6,594 (R5年) 婚姻率 KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 番号 現状 番号 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトブット) ① キャンペーン参加県民数(イベント来場者・コンテスト参加者の総数) 人 5,000 (R7年度) (アウトカム) ② ③ ④ (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) 96	
少子化対策全体の重要 業績評価指標(KPI)及び 定量的成果目標 ※全事業共通 合計特殊出生率 とちぎ結婚支援センターの会員数(累計) 男性の育児休業取得率 1.59 (R7年) 1. 4 8,510 (R7.12) 7,180 50.0 (R7年) 38. 96 50.0 (R7年) 38. 参考指標 ※全事業共通 項目 単位 直近の実績値(時) 6,594 (R5年) 婚姻率 KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 番号 現状 番号 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトブット) ① キャンペーン参加県民数(イベント来場者・コンテスト参加者の総数) 人 5,000 (R7年度) (アウトカム) ② ③ ④ (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) 96	
業績評価指標(KPI)及び 定量的成果目標 ※全事業共通	直(時点)
定量的成果目標 ※全事業共通 とちぎ結婚支援センターの会員数(累計) 男性の育児休業取得率 人 8,510 (R7.12) 7,180 50.0 (R7年) 38. 参考指標 ※全事業共通 「項目 単位 直近の実績値(時 6,594 (R5年) 婚姻率 KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 番号 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) 成果目標 (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) でアウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム)	9 (R5年)
※全事業共通 男性の育児休業取得率 % 50.0 (R7年) 38. 適目 単位 直近の実績値(時) 合計特殊出生率 1.19 (R5年) 婚姻中数 件 6,594 (R5年) 婚姻率 KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 番号 項目 (アウトプット) ① キャンペーン参加県民数(イベント来場者・コンテスト参加者の総数) 人 5,000 (R7年度) ② ③ 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	6 (R5年)
	(R6. 12)
参考指標 ※全事業共通 合計特殊出生率 婚姻件数 婚姻率 1.19 (R5年) KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 番号 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	5(R4年)
参考指標 ※全事業共通 合計特殊出生率 婚姻件数 1.19 (R5年) 婚姻率 3.6 (R5年) KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 番号 項目 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
※全事業共通 婚姻件数 件 6,594 (R5年) 婚姻率 3.6 (R5年) 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトプット) (アウトプット) (アウトプット) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム) (アウトカム)	į)
婚姻率 3.6 (R5年) KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) の類型要素検評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
KPI項目 単位 目標値(時点) 現状 番号 項目 (アウトプット) ① キャンペーン参加県民数(イベント来場者・コンテスト参加者の総数) 人 5,000 (R7年度) ② ③ ③ ④ 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
番号 項目	古/吐上)
(アウトプット)	<u>世(</u> 時只)
 ① キャンペーン参加県民数(イベント来場者・コンテスト参加者の総数) 人 5,000 (R7年度) ② ③ ④ 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) % 	
② ③ ③ ④ 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ⑤ (アウトカム) (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
③ ④ 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ⑤ ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (アウトカム) ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
価指標(KPI)及び定量的 成果目標	
成果目標 ① 交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。) %	
THE PRINT OF ANY MICK (MATERIAL OF ANY MICK)	
② 希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。) 96 ③ 結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。) 96	
	R6年度見込)
(5) する (大阪 アングライド(とこは/の中間とグンヨン数(前向数) 回 110,000 (1(7年度) 30,000 (10十汉元丛)
6	
8	